

事務事業名		統計関係団体運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																															
政策体系	政策名	07 新たな時代を切り拓く行政経営の確立		事業期間		予算科目																															
	施策名	23 質の高い行財政運営の推進		区分		会計	款																														
	基本事業名	01 効率的・効果的な行政運営の推進		単年度繰返		01	04																														
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		05	01																														
所属	部課名	企画政策部企画調整課		期間		事務事業区分																															
	課長名	阿部 貴俊		【開始年度】		D 補助金等																															
	係名	統計係	電話	昭和42 年度～																																	
	担当者	齊藤 真希	内線	0192-27-3111 214																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<p>統計に対する意識啓発と統計調査を円滑に実施するため、大船渡市統計調査員協議会事務局を市役所企画調整課内に置き、事務処理を行う。</p> <p>大船渡市統計調査員協議会に運営費として補助金を交付する。</p> <p>主な業務は、①会員案内作成・送付、②研修会の企画・実施、③会費の徴収、④県統計大会参加案内・統導、⑤統計情報の提供。事業費は補助金として支出される。</p>						<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>(千円)</td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0	(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
事業費	都道府県支出金																																				
財源内訳	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡市統計調査員協議会の事務局を企画調整課内に置き、統計担当職員が事務及び会計処理を行った。 ・感染症の影響により総会は書面実施としたが、県の統計大会・研修会は実施され、参加した。 <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>高齢化などによる会員減少により協議会の運営を見直す等の課題が挙げられており、「大船渡市団体事務局事務の見直し指針」に基づき、団体の廃止、事務局移管など総合的に検討する。</p>	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 研修会(会主催・共催)等開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 会報発行回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 研修会(会主催・共催)等開催回数	回	イ 会報発行回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 研修会(会主催・共催)等開催回数	回								
イ 会報発行回数	回								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
大船渡市統計調査員協議会	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 大船渡市統計調査員協議会会員数(年度当初)</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 大船渡市統計調査員協議会会員数(年度当初)	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 大船渡市統計調査員協議会会員数(年度当初)	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
団体を構成する会員の統計調査に対する意識啓発と調査員としての質の向上を図る。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 総会参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 統計大会・研修会(会主催・共催)等参加会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ス 会報送付会員数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	サ 総会参加者数	人	シ 統計大会・研修会(会主催・共催)等参加会員数	人	ス 会報送付会員数	人
名称	単位								
サ 総会参加者数	人								
シ 統計大会・研修会(会主催・共催)等参加会員数	人								
ス 会報送付会員数	人								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
・統計調査員の正確で効率的な調査実施に繋がる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	3	3	3	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	50	65	70	50	20	20	
		人件費計(B)	千円	200	260	280	200	80	80	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	200	260	280	200	80	80	
⑤活動指標	ア	回	0	1	1	1	1	1		
	イ	回	1	1	1	0	0			
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	75	73	66	60	0	0		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	人	66	63	54	47	0	0		
	シ	人	-	66	3	0	0	0		
	ス	人	75	66	63	0	0	0		

事務事業ID	0430	事務事業名	統計関係団体運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	精度の高い統計を得るためには調査員の資質によるところが大きく、調査員に係る継続的な研修が必要であったが、調査員は調査の都度任命されるため研修の実施が困難であった。こうしたことから昭和42年8月、調査員の資の向上を目的とした任意の協議会が設立され、市役所統計主管課に事務局が置かれた。の大船渡市・三陸町の合併により、当協議会も合併した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	統計調査を取り巻く環境は、プライバシー意識の高まりから、調査に非協力的な市民(調査客体)が増加していることや、東日本大震災以降、調査客体の移転やまちなみの変化等が続き、厳しい状況が続いている。また正確な調査を行うために、統計思想の普及と調査員の質の向上が求められている。 平成13年に大船渡市・三陸町が合併し、会員が169人となったが、徐々に減少している。 主管課が令和3年度4月に商工課から企画調整課へ移管された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民からは統計調査における守秘義務の徹底、調査書類の適切な管理等、統計調査員の質の向上を求める意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 統計情報は各施策の立案・実施の基礎資料であり、効率的・効果的な行政運営に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 正確な統計と円滑な統計調査の実施のためには、必要な資質を備えた調査員の確保が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 市レベルでの統計調査員組織は1団体である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 調査員の質の維持・向上と、新たな調査員の確保のための協議会だが、会員の高齢化と会費の負担等により円滑な運営が困難なことが課題に挙げられており、総合的に検討した結果、協議会を解散した。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 調査員の研修機会や調査員同士の交流の場が減少するものの、調査員を管理する市が主体的に研修や交流の場を確保することにより、調査員の質の維持・向上を図っていくことが可能である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 協議会解散により補助金の交付されないため、削減の余地なし。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 協議会解散により業務時間の削減の余地なし。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 協議会解散により、会員費を支払うが統計調査に従事できない、統計大会への参加者の固定化などが解消されつつある。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和5年5月31日をもって大船渡市統計調査員協議会を廃止した。																							
3 終了・廃止・休止	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
3 終了・廃止・休止	